

# 経済指標レポート 第238号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel: 06 - 6441 - 0102 Fax: 06 - 6441 - 0443

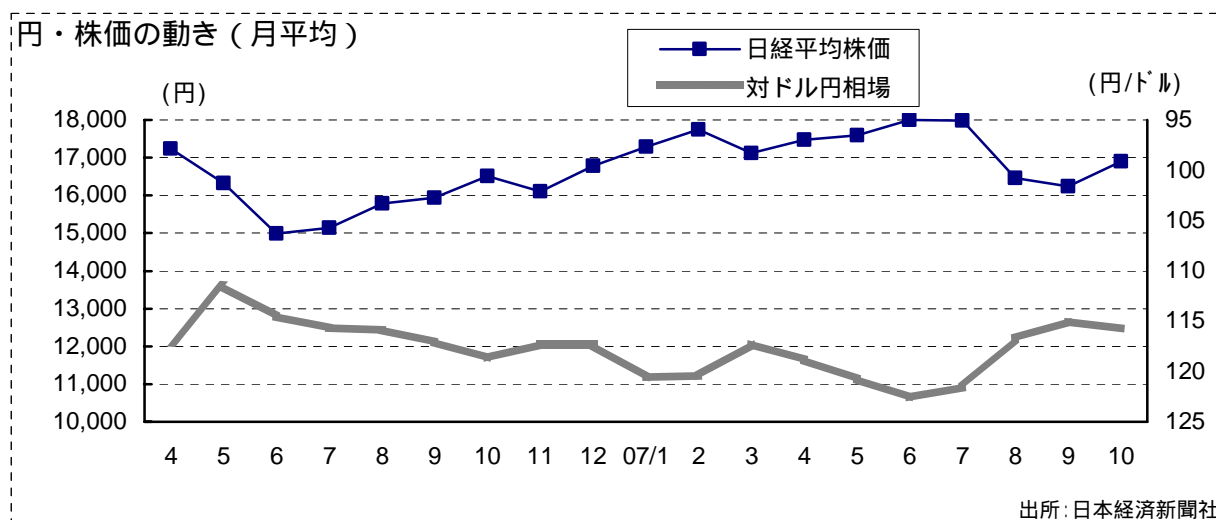
内閣府が発表した11月の月例経済報告によると、国内景気の全体的な基調判断は、前月と変わらず「このところ一部に弱さが見られるものの回復している」と示された。個別項目では、雇用情勢について「改善に足踏みが見られる」との表現で判断をやや下方修正、先行きについてサブプライム住宅ローン問題を背景とする金融資本市場の変動や原油価格の動きに対する留意が示された。

また、地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々に調査を行い、より日常の生活感に近い景気動向を把握するための「景気ウォッチャー調査」の結果では、ガソリン価格の高騰や、石油等の影響による商品単価の上昇、建築基準法の改正に伴う建設工事の着工の遅れ・受注の減少(こちらは徐々に持ち直すとの見通しあり)、相次ぐ偽装問題による食産業への不信感などが足下の懸念材料として報告されている。

このように、総体的に見れば緩やかな拡大を続けているものの、景気の減速感ならびに先行きに対する懸念材料は一層増してきている。

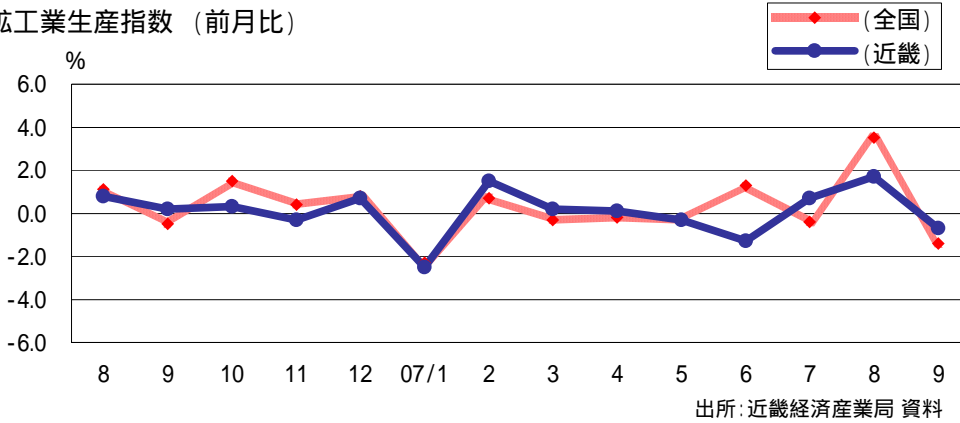
民間調査機関15社による今年度の経済成長率見通しの平均は、政府予想の実質2.1%を下回る実質1.5%と発表されている。一方、来年度の実質成長率の平均は2.1%と示されており、落ち込んだ住宅関連の持ち直しや引き続き好調な新興工業国向けなどの輸出に支えられて経済は緩やかに回復、底堅く推移するものと予測されている。現在噴出している懸念材料の今後の動きと減速感の行方に引き続き注視が必要である。

## 各指標の動き



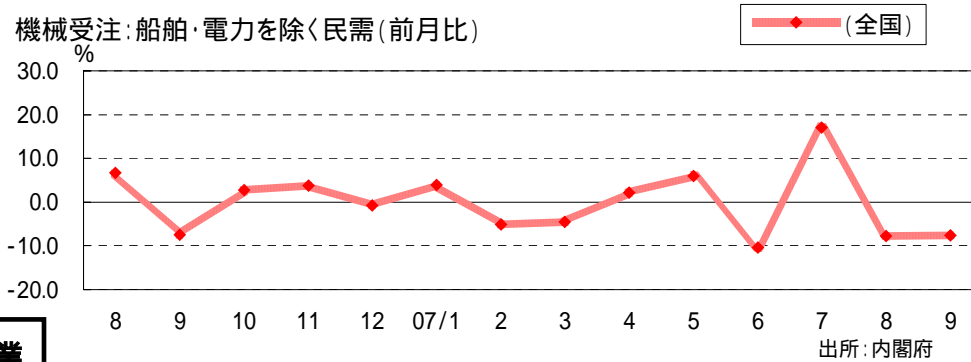
## 生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 0.7% 減と 3 ヶ月ぶりに低下。情報通信機械工業、金属製品工業、鉄鋼業などが低下に影響している。

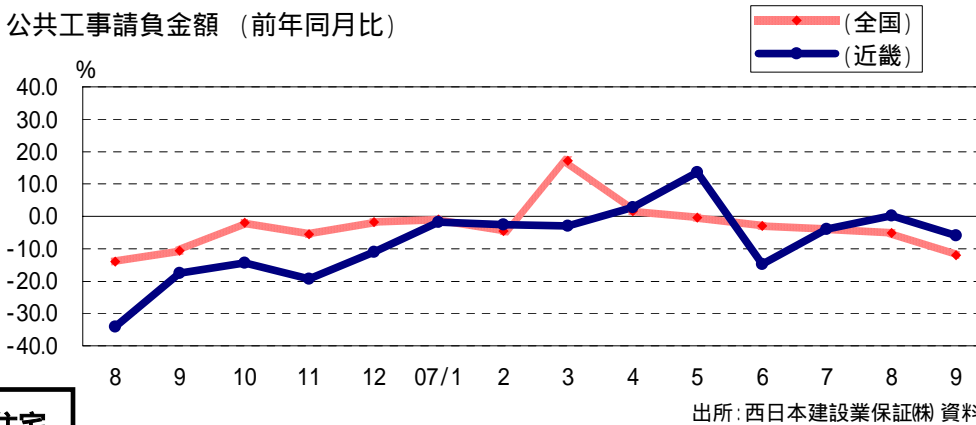
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 7.6% 減となった。業種別の受注は製造業が同 5.7% 増、非製造業(船舶・電力を除く)が同 17.1% 減となった。

## 公共事業

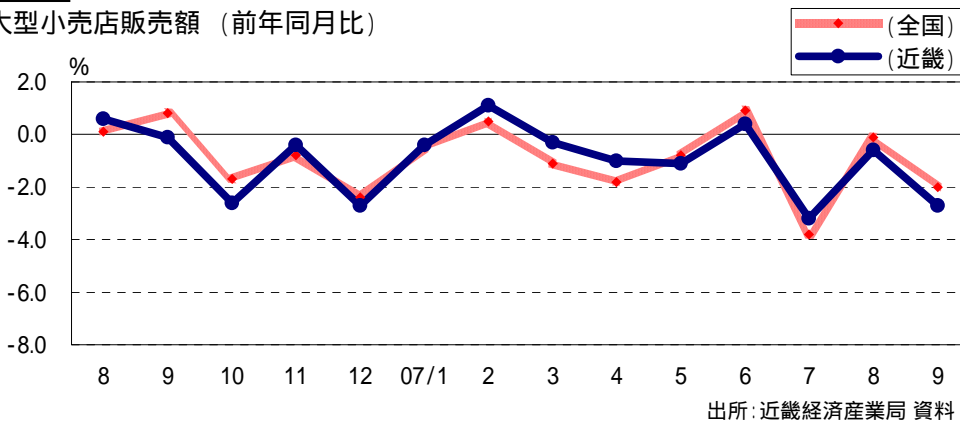
公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 6.0% 減。大阪府の前年度大型工事(寝屋川流域下水道関連工事)の反動減、奈良、兵庫の減少などが影響。

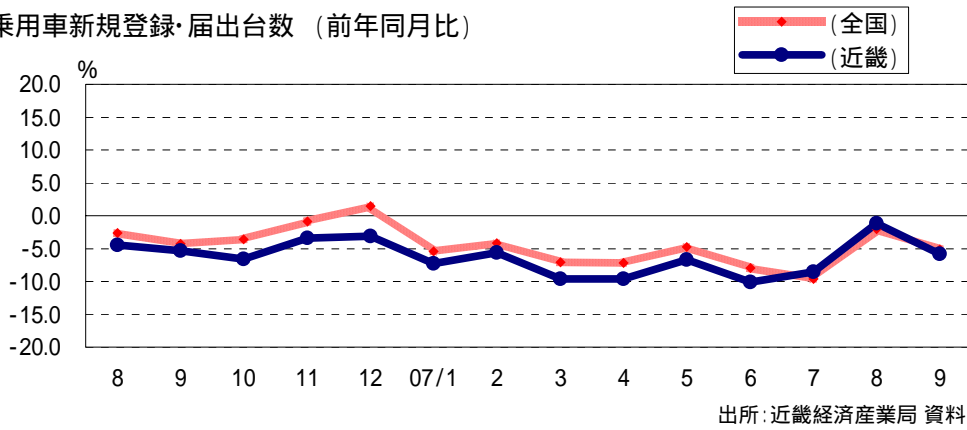
## 消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



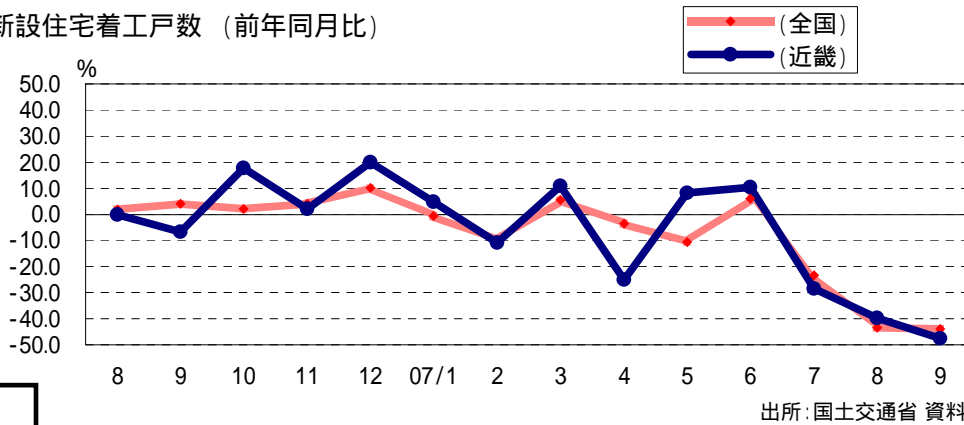
近畿は既存店ベースで前年同月比 2.7% 減と 3 ヶ月連続のマイナス。残暑が厳しく、主力となる秋物衣料品などの売れ行きが伸びず。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比5.8%減と18ヶ月連続で前年を下回った。普通車が3ヶ月連続で前年を上回ったものの、小型車が18ヶ月連続、軽四車が6ヶ月連続で前年を下回った。

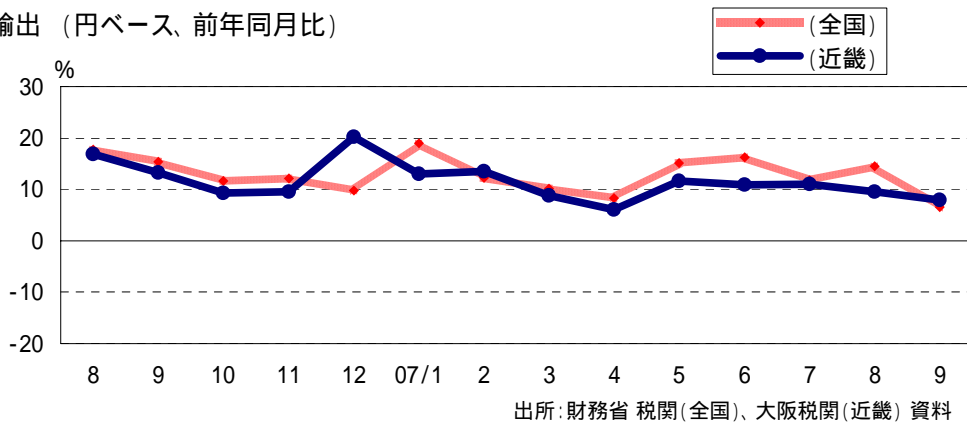
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比47.5%減となり3ヶ月連続で前年を下回った。改正建築基準法の施行による影響が大きい。

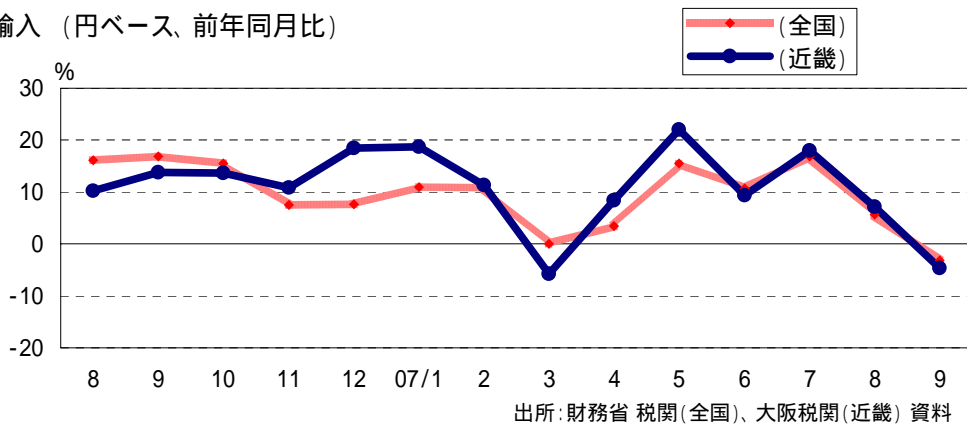
**輸出入**

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比7.9%増で66ヶ月連続のプラスとなった。主にアメリカ向け半導体等電子部品、台湾・インドネシア向けの精製鋼などが増加。

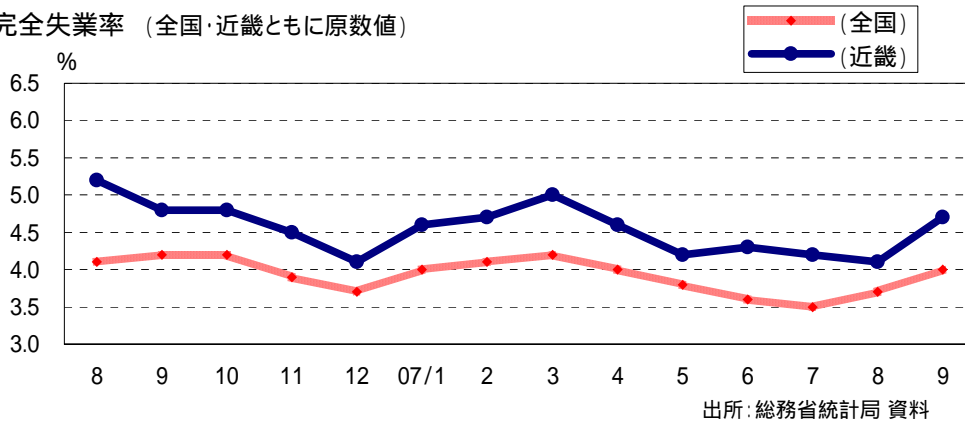
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比4.6%減となり、6ヶ月ぶりのマイナスとなった。原油および衣類関係品の減少が影響している。

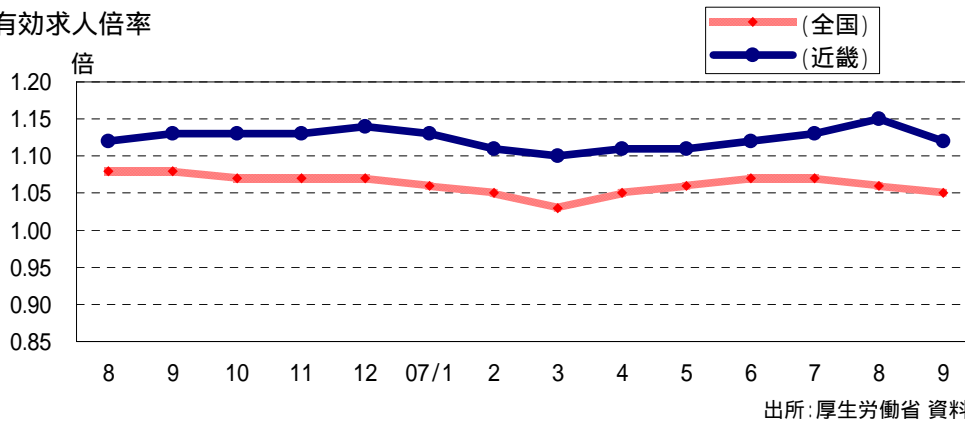
## 雇用・倒産

完全失業率 (全国・近畿ともに原数値)



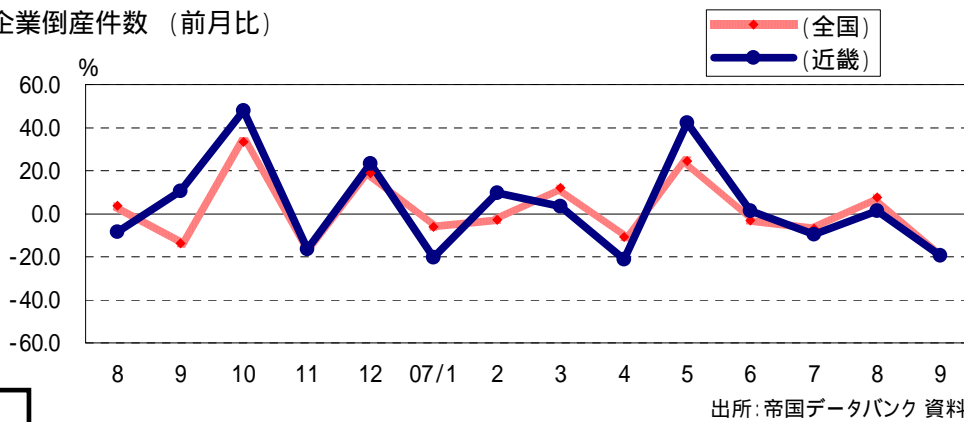
近畿の完全失業率は4.7%で、13ヶ月連続で前年を下回った(前年同月は4.8%)。全国も前年同月の4.2%より低下し、4.0%となっている。

有効求人倍率



近畿は前月から低下し、1.12倍となった。引き続き全国(1.05倍)を上回る数値で推移し、改善が続いている。

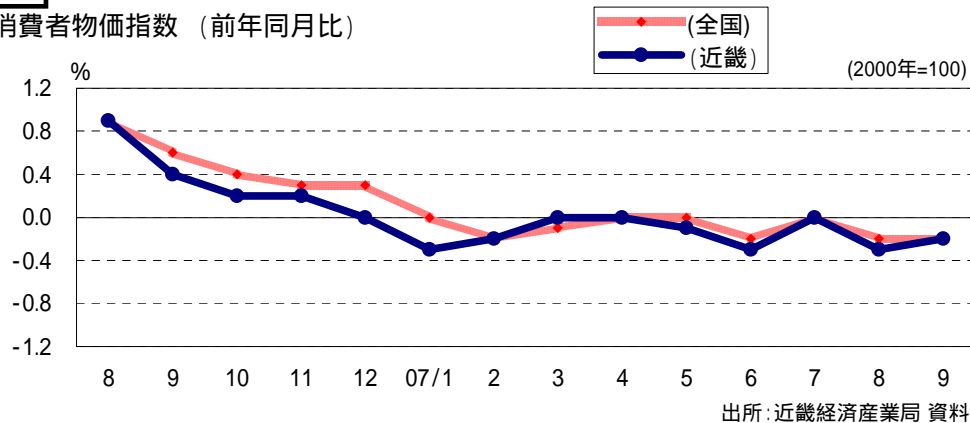
企業倒産件数 (前月比)



近畿の倒産件数は前月比19.5%減。大型倒産は減少しているものの小規模零細企業の倒産が頻発している。

## 物価

消費者物価指数 (前年同月比)



近畿は100.4で前年同月比0.2%減。教養娯楽、家具・家事用品、交通・通信、食料の指数が低下。